

プラットフォームビジネスの
アーキテクチャの考察
ービジネスモデル3.0
タスクフォース報告02ー

2016年12月3日
於東京工芸大学

片岡 信弘, 堀米 明, 小松 昭英,
五月女健治, 増井 久之, 須栗裕樹
荒川弘熙, 松本正雄, 木村礼壮

はじめに

- 当タスクフォースの目的
 - ◆ ビジネスのアイデアに基づくビジネスモデルの設計と評価
 - ◆ ビジネスモデルを支える情報システムの迅速な実動化
 - ◆ 一連の手順を確立すること
- 当報告
 - ◆ プラットフォームビジネスのビジネスアーキテクチャの考察
 - ◆ ビジネスモデルとこれを支える情報システムを繋ぐものがビジネスアーキテクチャ

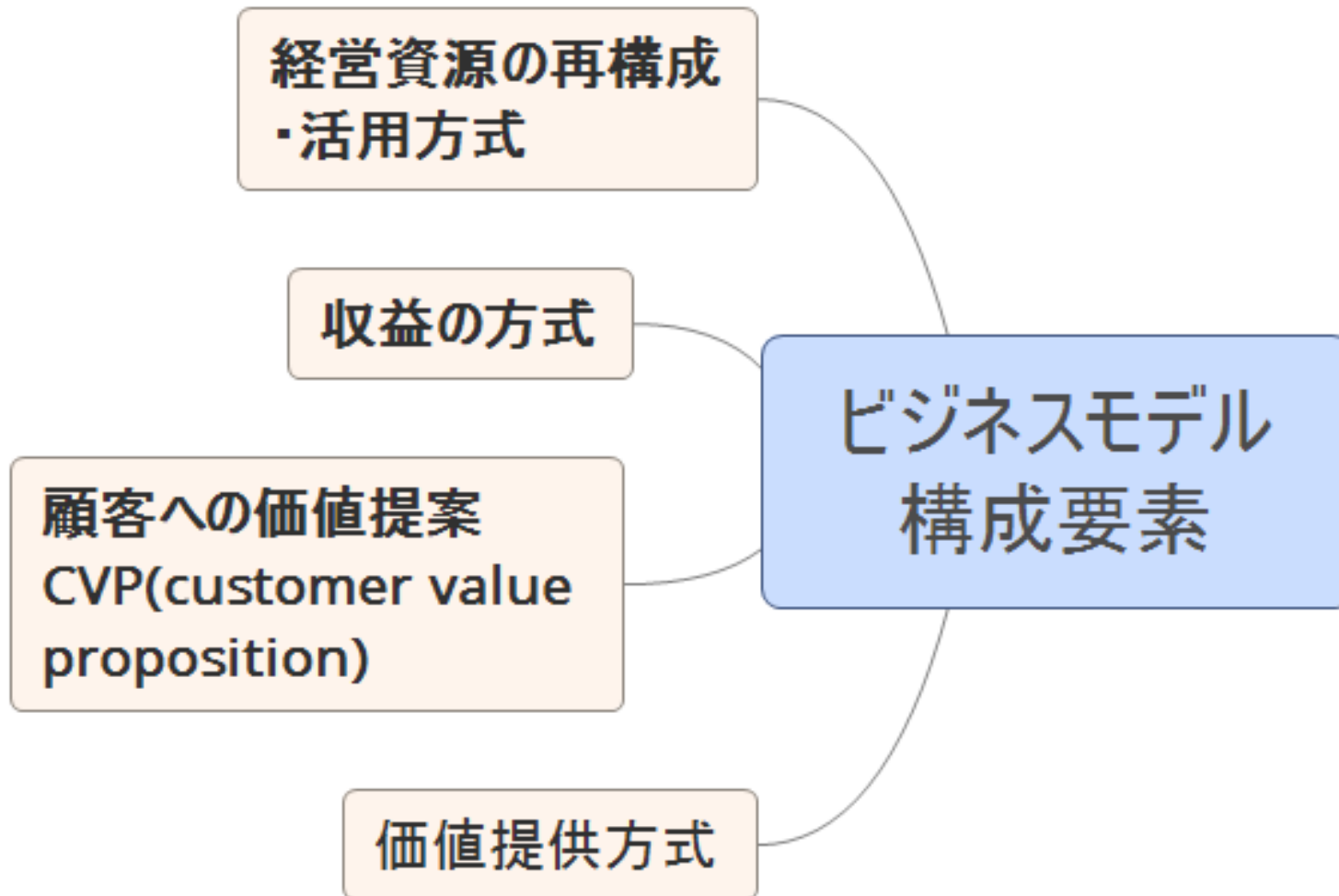
考察の手順

- ビジネスアーキテクチャの研究動向をサーベ
 - ◆ ビジネスモデルとの関係を整理
 - ◆ 我々のビジネスアーキテクチャの定義
- プラットフォームビジネスのサーベイ
 - ◆ 特質の抽出
 - ◆ なぜこれを対象としているかについて明確化
- プラットフォームビジネスアーキテクチャ表記方式の考察
 - ◆ 表記方式が満たすべき条件
 - ◆ ArchiMate へのExtension

ビジネスモデルとは

- 國領二郎の定義
 - ◆ 顧客に提供する価値
 - ◆ 経営資源の集め方
 - 根来龍之と木村誠の定義
 - ◆ 顧客に提供するもの
 - ◆ 収益モデル
 - M.Johnson, J.Christensen, H. Kagermannらの定義
 - ◆ 顧客価値提案
 - ◆ 経営資源
- ・どのように提供するか
 - ・収益モデル
 - ・オペレーションモデル
 - ・収益モデル
 - ・プロセス

図1 ビジネスモデル構成要素(X Mindで整理)



ビジネスアーキテクチャとは

- G. VersteegとH. Bouwman
 - ◆ ビジネス戦略を定式化したもの
 - ◆ 組織やプロセスや、ビジネスの機能を実現するICTの仕組が含まれる
- 細川浩司と仙石靖彦
 - ◆ ビジネス活動を構成する要素を網羅的にとらえ、その要素間の関係をモデルとして表現

ビジネスアーキテクチャとは(2)

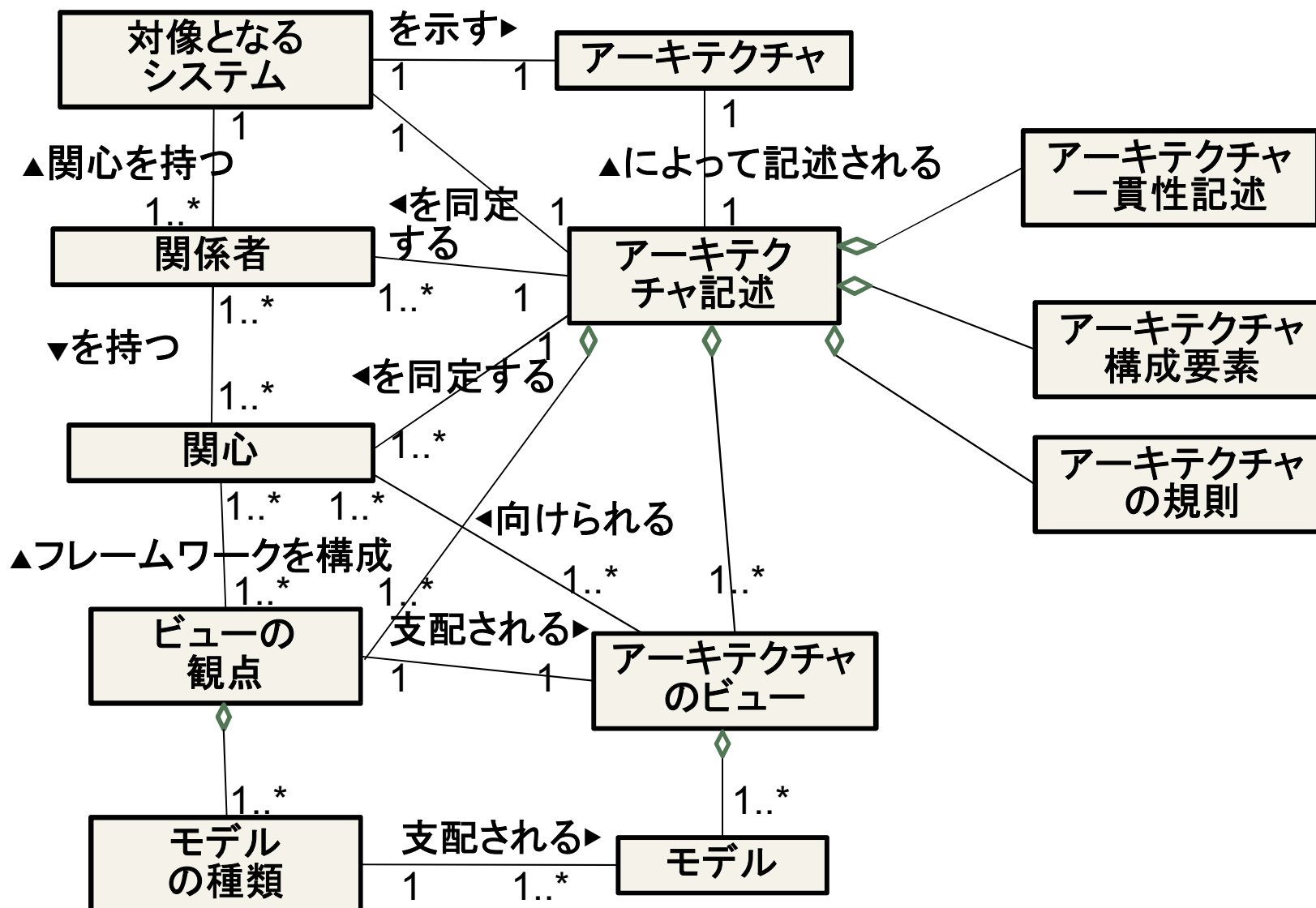
■ 小橋 渉

- ◆ ビジネス活動の構成要素間および構成要素と環境の間の関係を規定
- ◆ 意図した目的を実現しようとする行動の基礎となる設計思想

■ OMGのBASIG

- ◆ 組織の共通の理解を提供し、戦略及び戦術的なニーズに合わせて使用するエンタープライズの青写真

図2 ISO/IEC/IEEE 42010 アーキテクチャの概念モデル



ビジネスアーキテクチャのまとめ

- ビジネスアーキテクチャとは
 - ◆ ビジネスを構成する要素間の関係を示すもの
 - ◆ ビジネスモデルを具現化したもの
- 関係者により視点が異なり記述されるものも異なる

図3 ビジネスアーキテクチャ構成要素

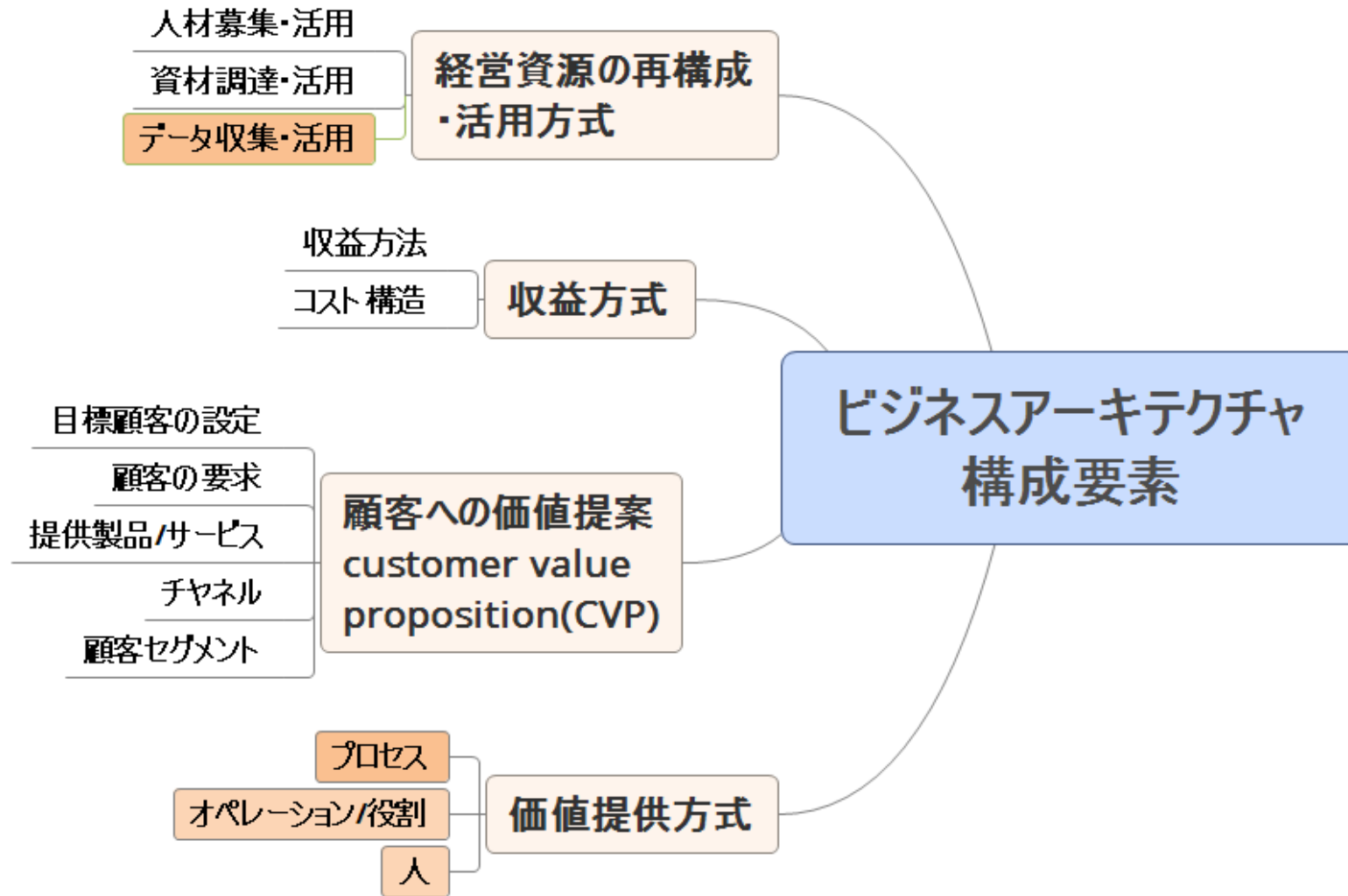
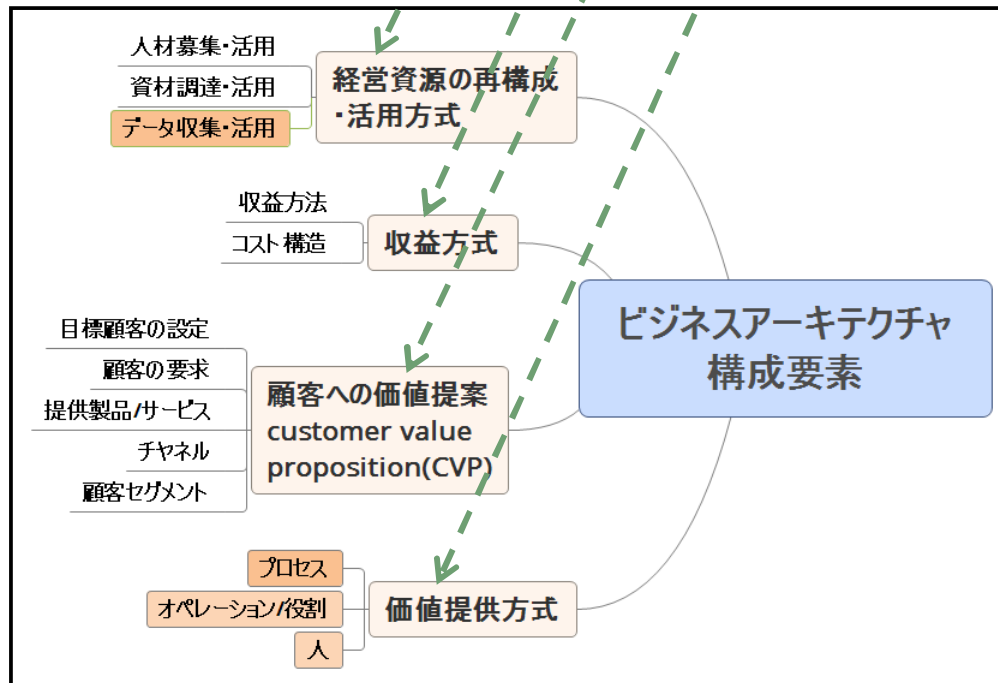
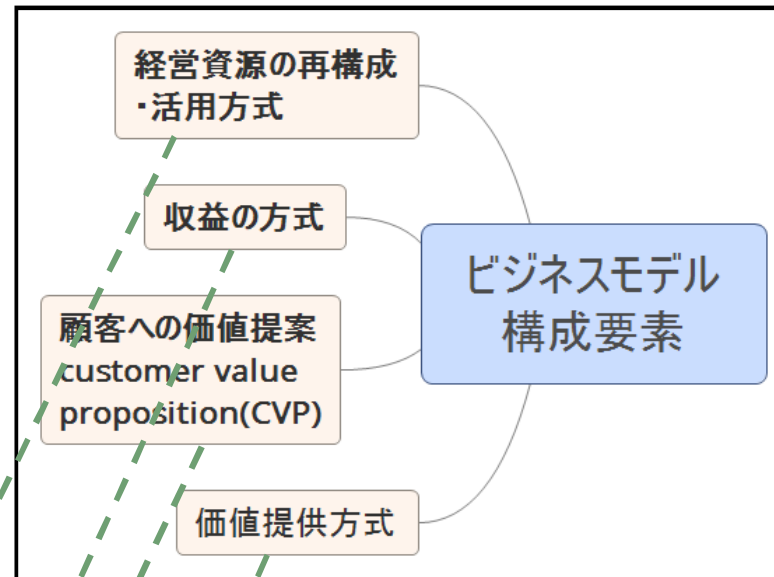


図4 ビジネスモデルとビジネスアーキテクチャの関係



情報システムの基本としてのビジネスアーキテクチャ

- ビジネスモデルの実現を支える情報システムの基本としてのビジネスアーキテクチャ
- ビジネスアーキテクチャの情報システムの側面からのビュー
 - ◆ ビジネスアーキテクチャの情報システム実現の側面のみに注目

図3 ビジネスアーキテクチャ構成要素

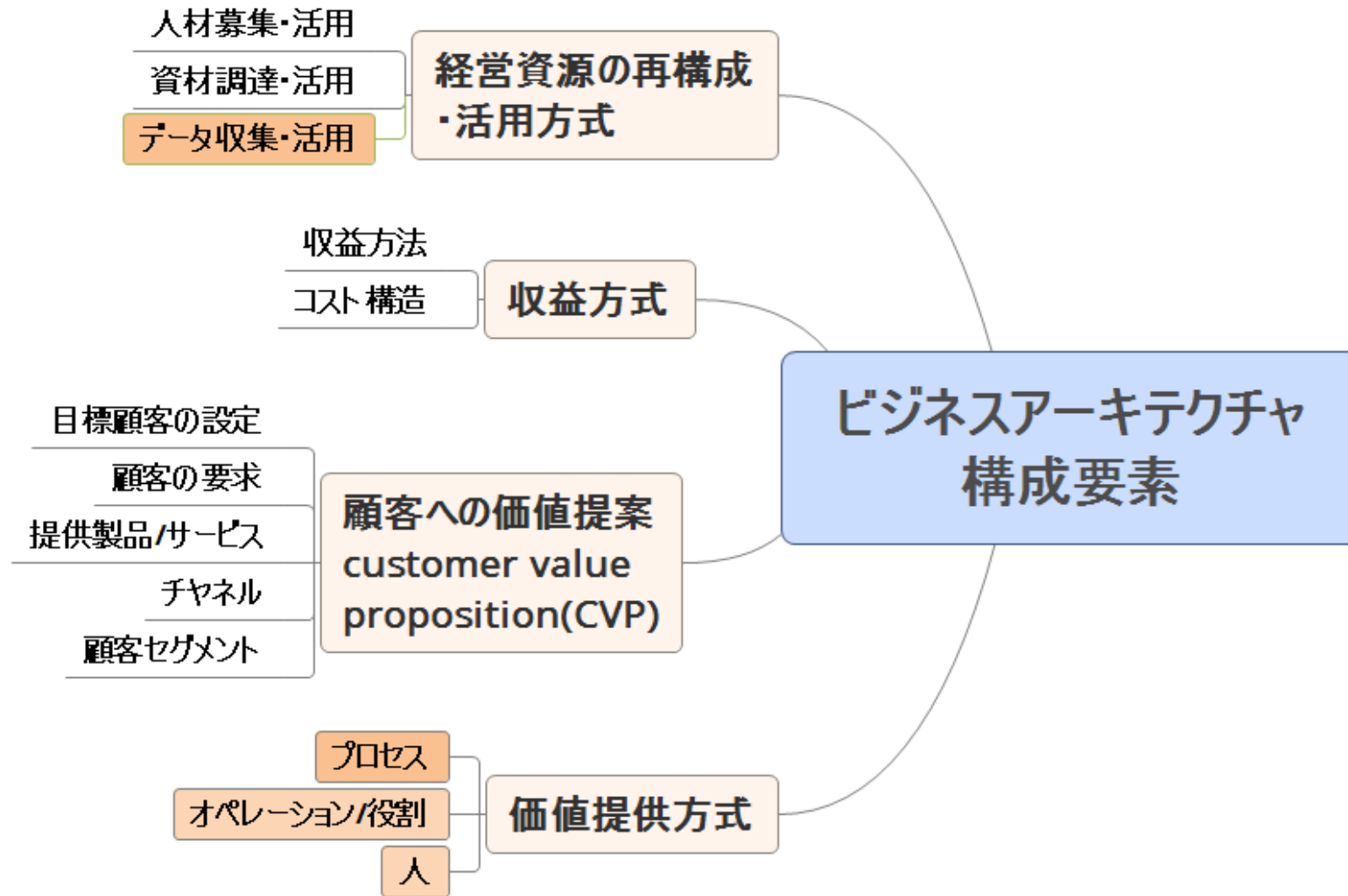
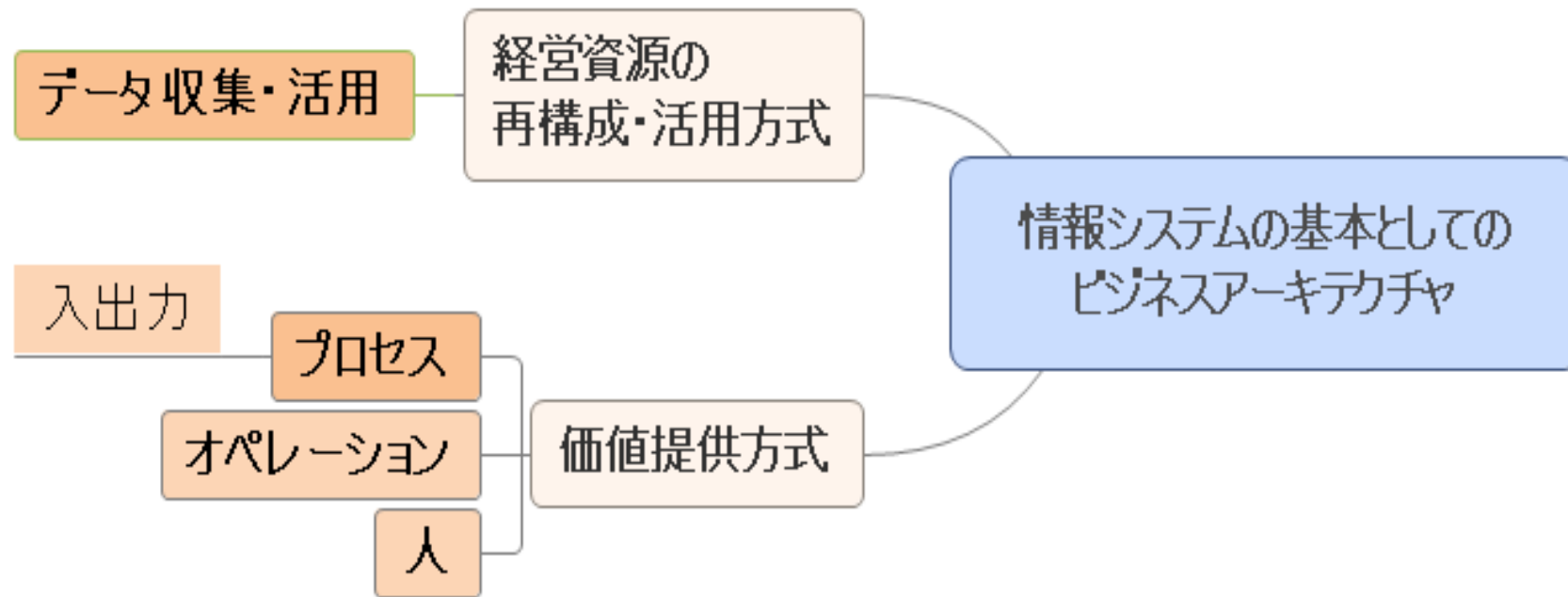


図5情報システムの基本としてのビジネスアーキテクチャ ビジネスアーキテクチャの**情報システム**ビー



3.プラットフォームビジネスとは

■ 基盤型プラットフォーム

- ◆ 製品やサービスを事業者が提供, それを前提とした補完製品やサービスを他の事業者が提供
- ◆ 事例: パソコンやスマホのOS, IntelやAMDのチップ, SNS, IaaS, SaaS, APIでのDB提供など

■ 仲介型プラットフォーム

- ◆ 製品やサービスを提供する事業者とその利用者を仲介
- ◆ 複数グループのニーズを仲介することで, グループ間の相互作用を触媒し, 市場経済圏を作るビジネスモデル

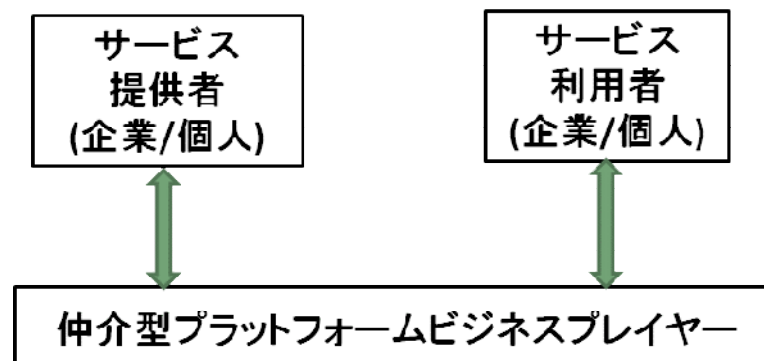


表1 各ビジネスのアーキテクチャ比較

アーキテクチャの要素	プラットフォームビジネス		従来ビジネス
	基盤型ビジネス	仲介ビジネス	
経営資源の再構成・活用方式	各ビジネスとも特に違いはなし		
収益方式	プラットフォームの 利用料	商品/サービスの 仲介手数料	商品/サービスの 代金
顧客への価値提案	プラットフォーム上のシステムで決まる	両者の違いはなし (それぞれのシステムで実施)	
価値提案方式	プラットフォーム上のシステムで行われる	仲介者間 (商品/サービス情報+ 仲介者情報/評価情報)	事業者から顧客 (商品/サービス情報)

表2 プラットフォームビジネス一覧

	大分類	小分類	特徴
1	物の売買プラットフォーム	ショッピング, オークション フリーマーケット, リバースオークション(間接材)	A
2	情報のやり取りプラットフォーム	コンテンツ配信, 情報マッチング	A
3	予約サービスプラットフォーム	交通機関, ホテル, グルメ, 宅配の予約	B
4	決済プラットフォーム	ネット決済, 電子マネー	B
5	情報共有プラットフォーム	SNS, 口コミ&レビュー, 画像/動画共有	C
6	スキル共有プラットフォーム	オンライン講座, オープンイノベーション, スキルシェア	C
7	人のマッチングプラットフォーム	ジョブマッチング	C
8	仕事/資金マッチングプラットフォーム	クラウドソーシング, クライドファンディング	C
9	空間移動モノのシェアプラットフォーム	空間のシェア, 移動のシェア, モノのシェア	C

表3 仲介内容の特質の分類

A	利用者はプラットフォームを通じ提供物を選択. 利用者から提供者への フィードバックは評価のみ.
B	利用者は 高度なマッチング により提供物を選択. フィードバックはAと同様
C	利用者は 高度なマッチング により提供者を選択. 利用者は 提供者から直接サービス を受ける.

プラットフォームビジネスを取り上げる理由

- 大きな広がりを見せており今後大きく伸びる領域である
- シェアリングエコノミーの世界の市場規模は急速な拡大
 - ◆ 2013年で150億ドル⇒2025年に3350億ドル
- 多数のビジネスがプラットフォーム上で新規に立ち上がっている.

4.プラットフォームビジネス アーキテクチャの表記方式の考察

考察事例

- 子育て支援ビジネス事例
- 核家族時代に対応いたもの
- 子供(乳幼児から小学校低学年)の一時対応サービス
- 定期的なもの, 緊急, 夜間や宿泊に対応
- **スタッフが自宅**に来ることにより対応

図6 子育て支援ビジネスモデル構成図

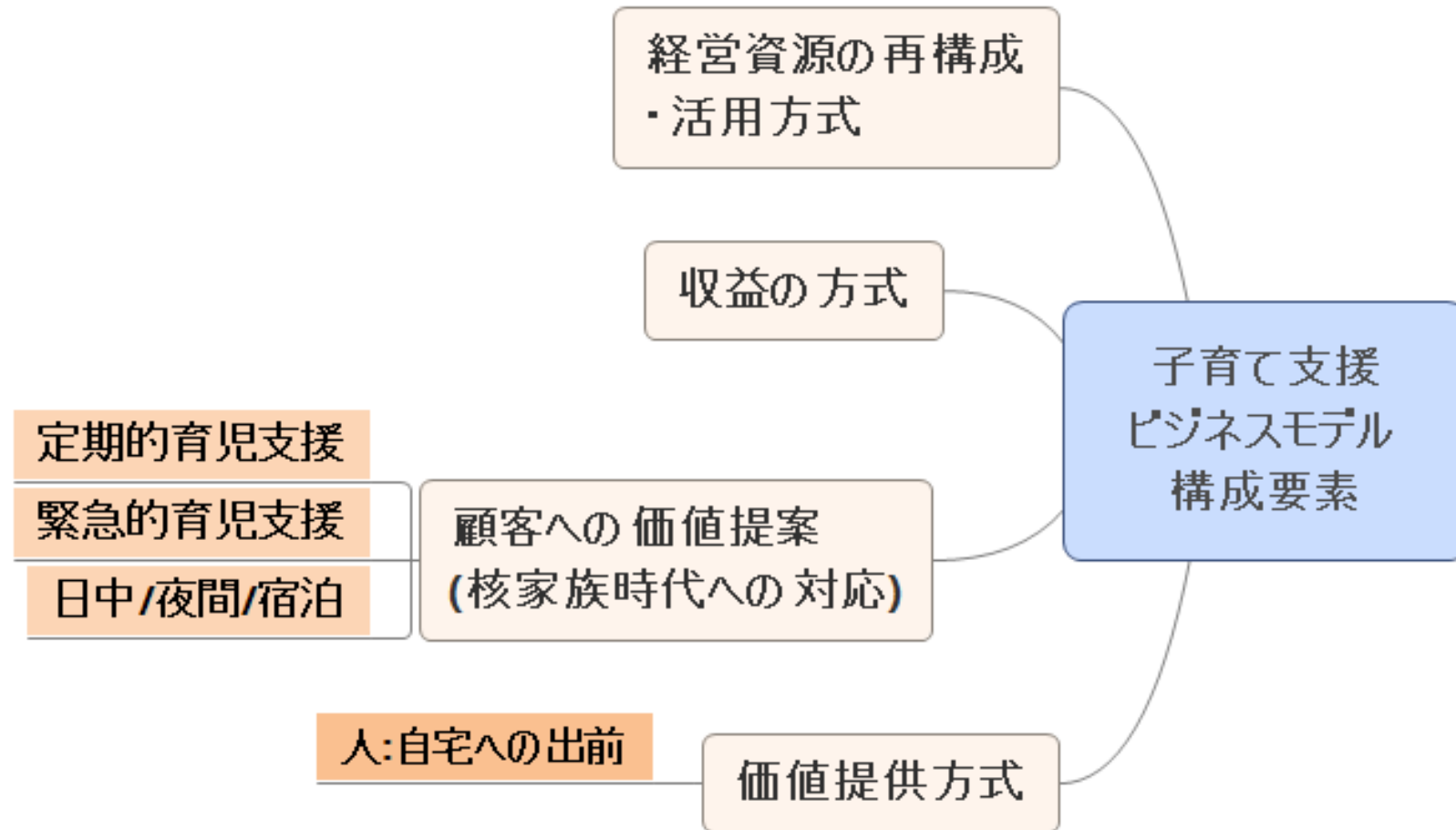
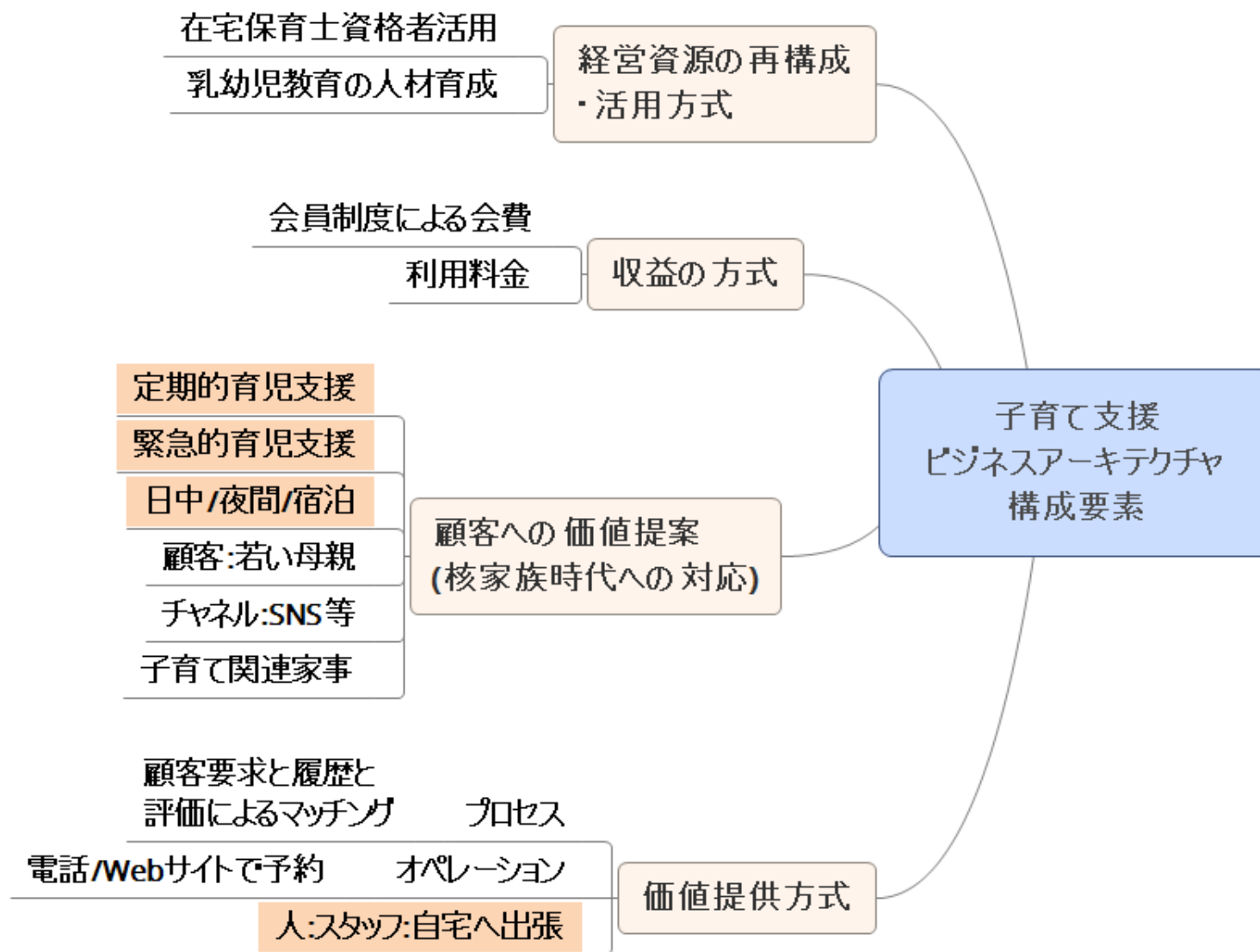
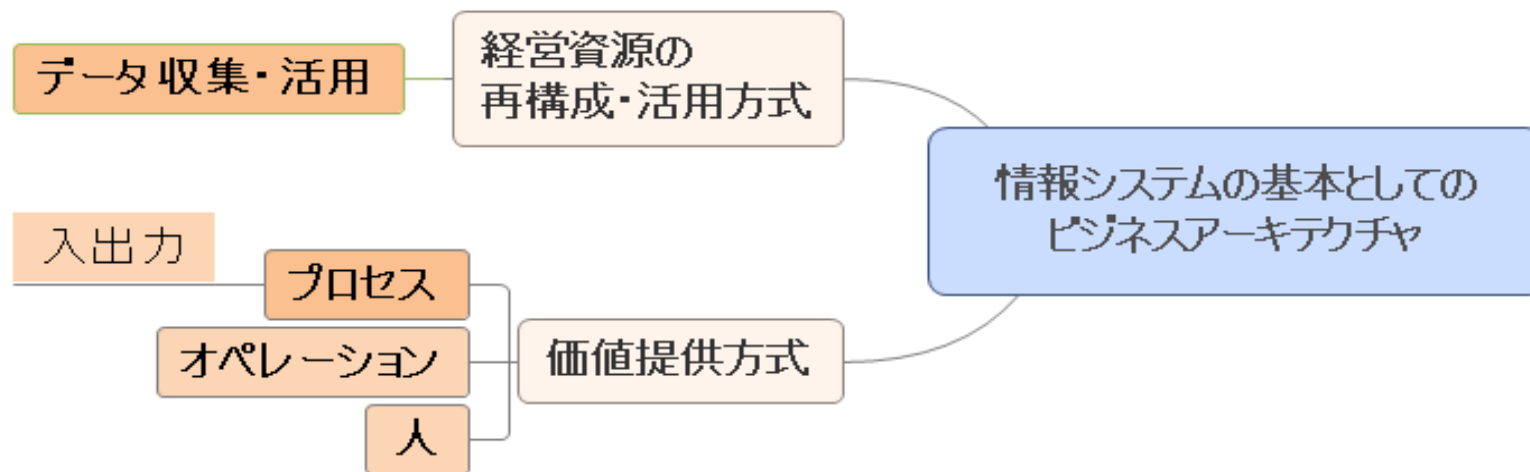


図7.子育て支援ビジネスアーキテクチャ構成図



情報システムの基本としての ビジネスアーキテクチャ表記方式の課題

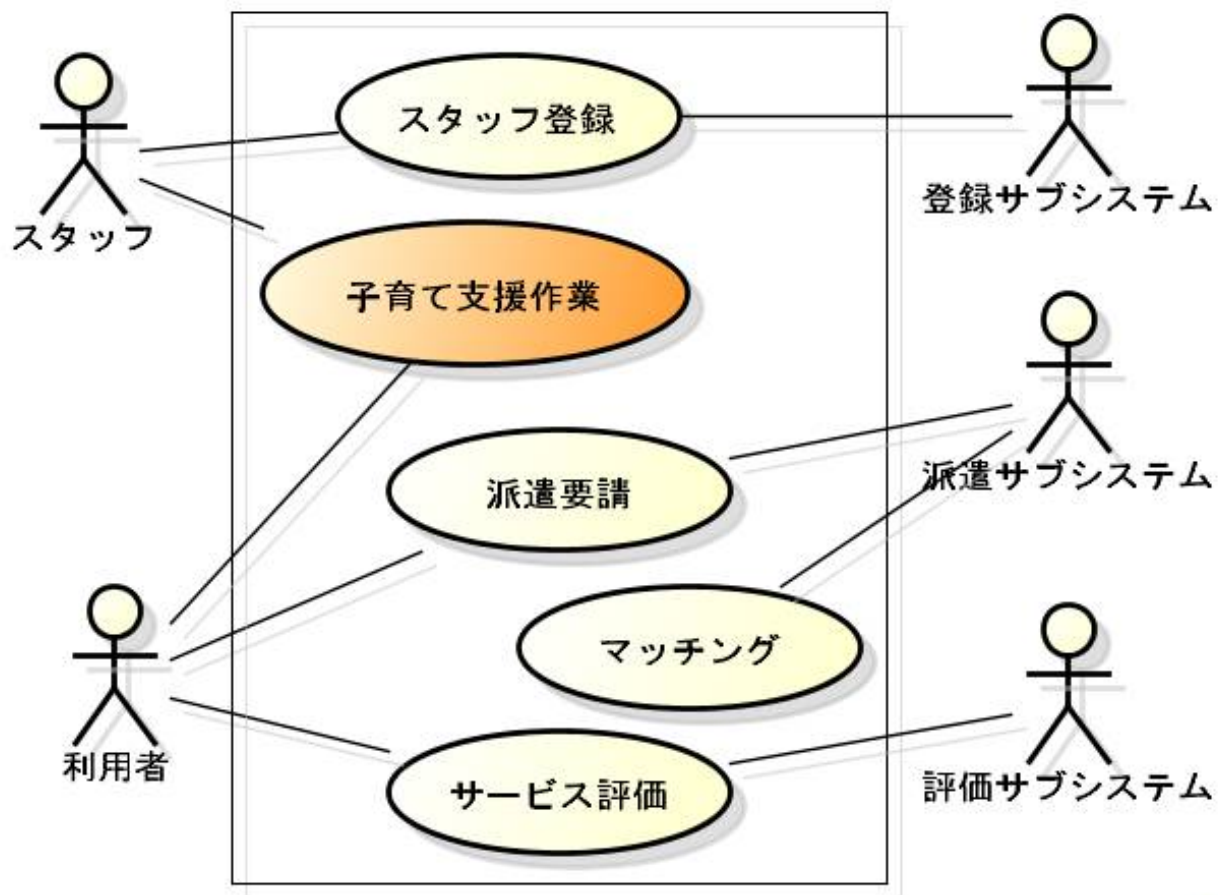
- ユースケース図, ArchiMate, OMGのBMM, BPMNなどが考えられる
- ArchiMateの利用の可能性について検討する
 - ◆ ∵ ビジネスプロセス, アクターが記述可能



プラットフォームビジネス記述で必要な項目

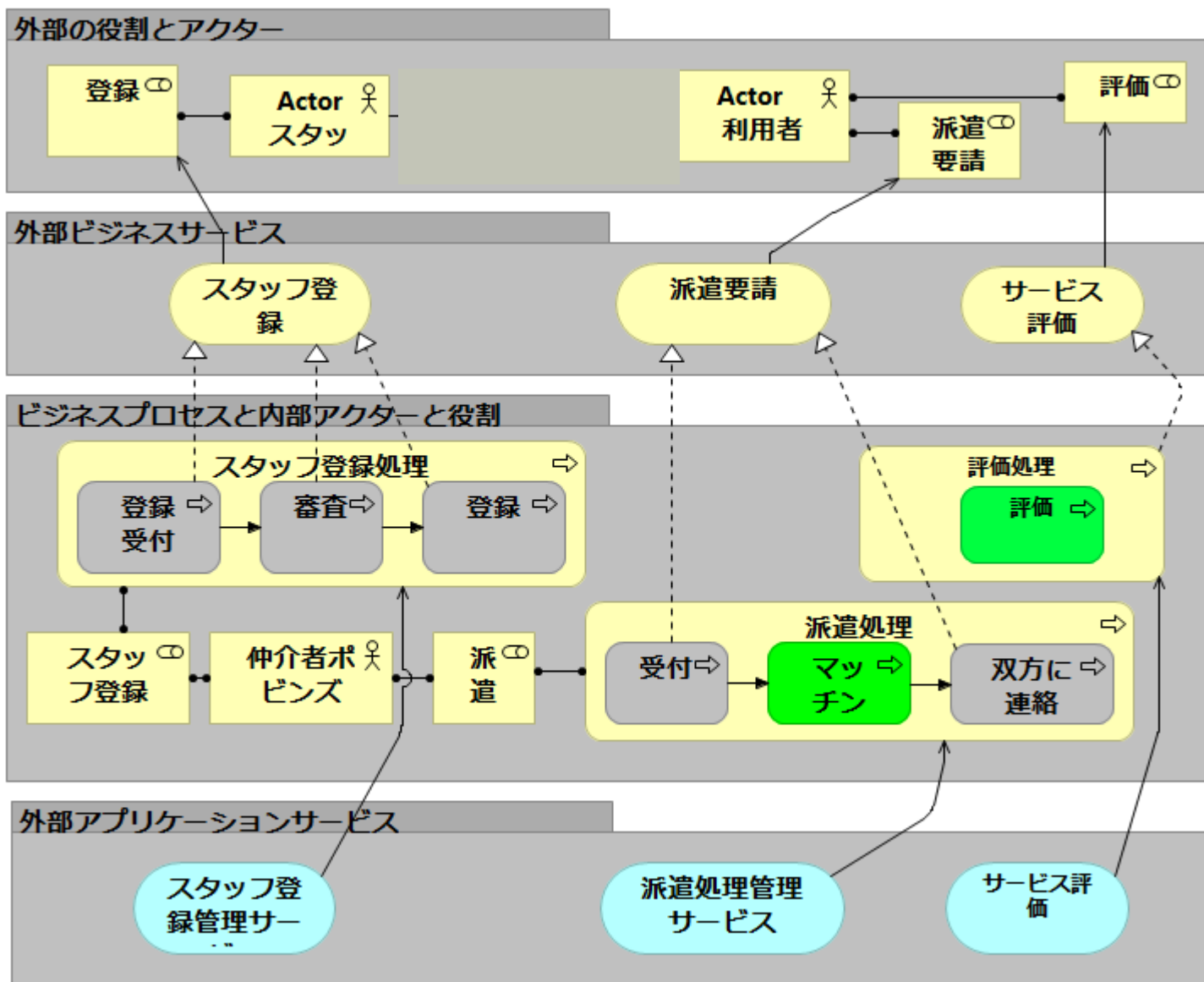
- システムの利用者同士が直接のやり取り
- サービス評価のフィードバック
- 高度なマッチング処理

子育て支援サービスのユースケース記述

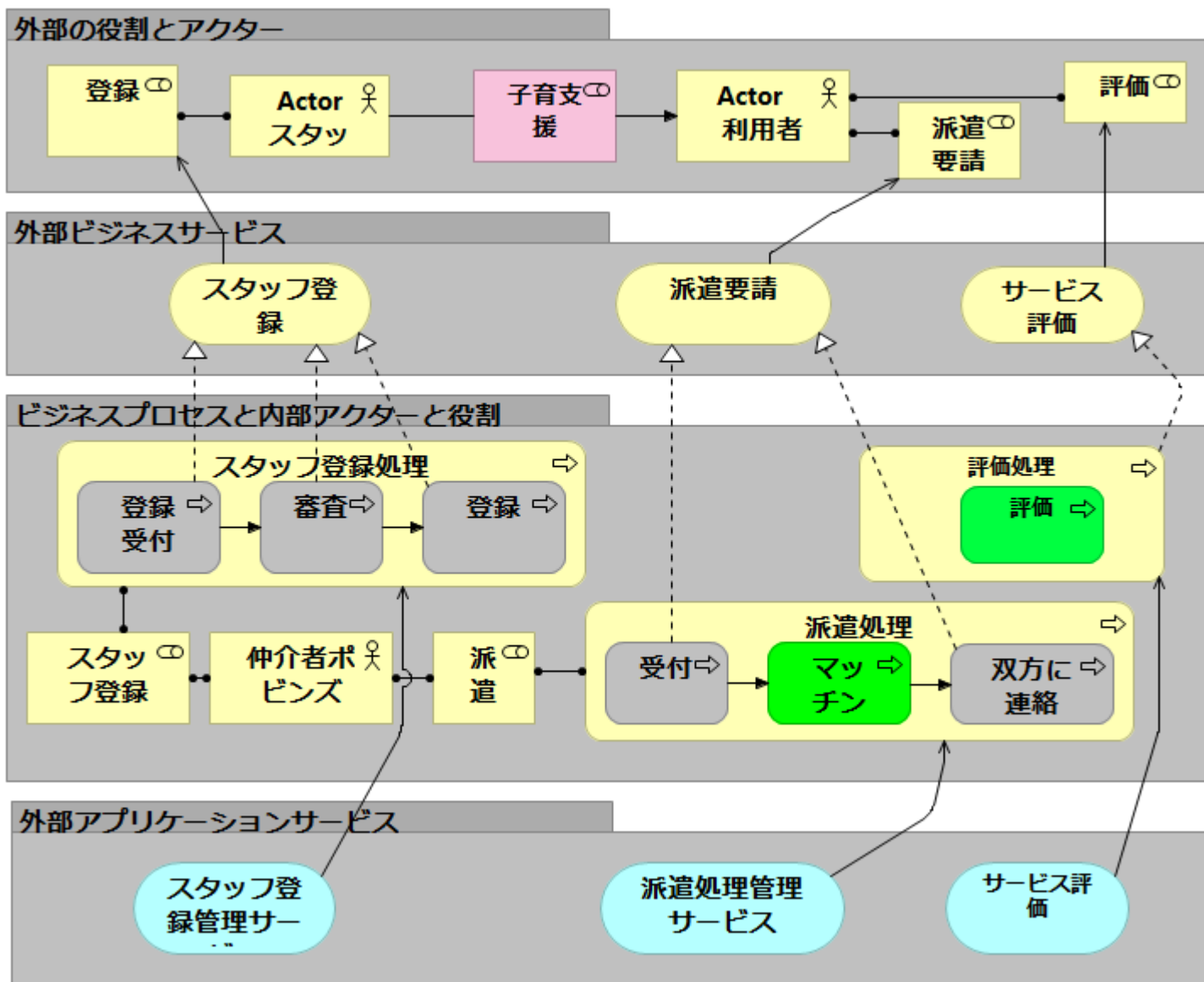


powered by Astah

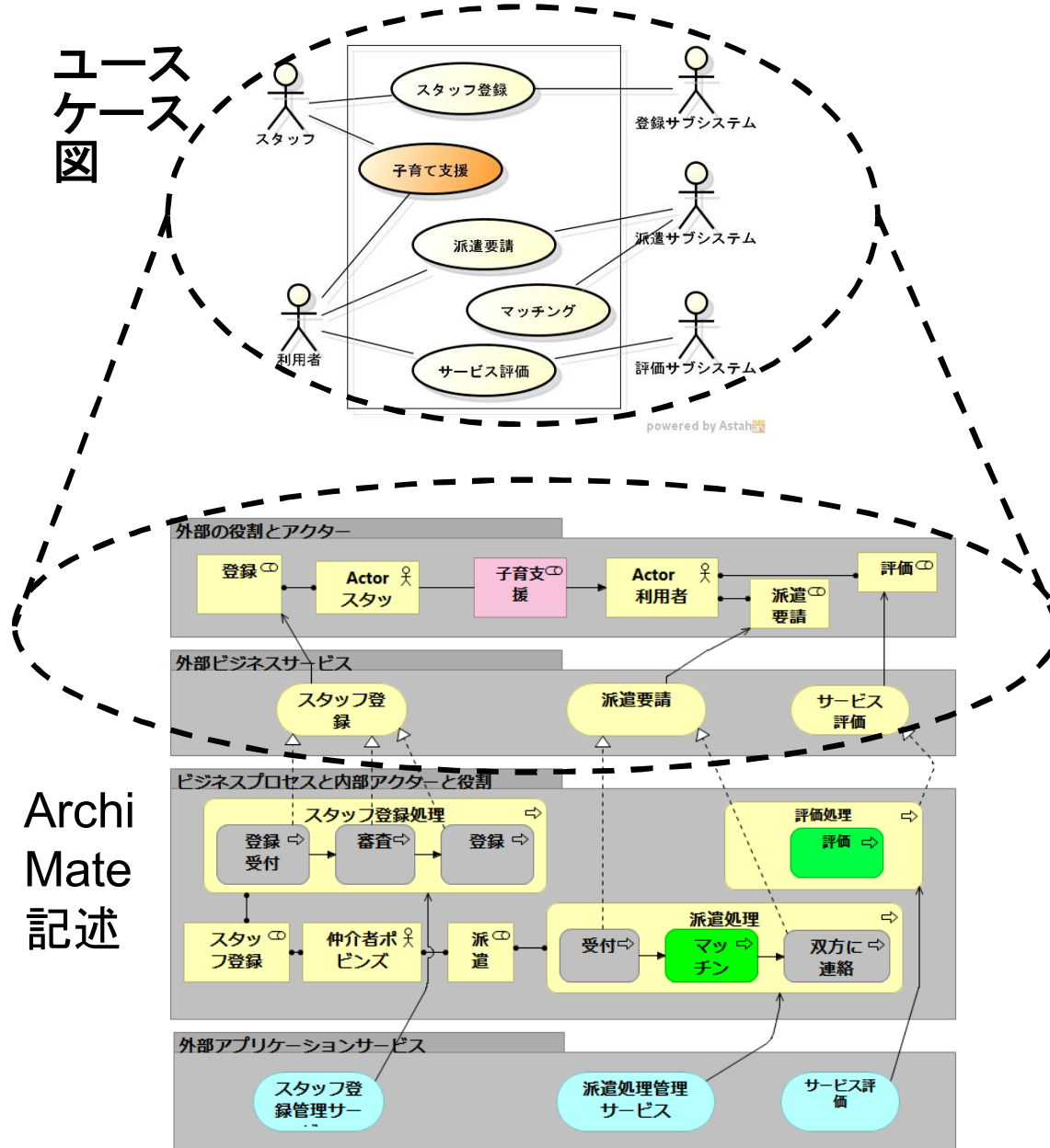
ArchiMateによる記述



ArchiMate へ「オフラインロール」追加



ユースケース図とArchiMate記述比較



考察

図 5 ビジネスアーキテクチャの項目	ArchiMate での表記
プロセス	ビジネスプロセス
人	アクター
データの収集・活用	プロセスの中に表現
入出力	明確には表記されず
オペレーション	内部アクターと役割

今後の課題

- ビジネスアーキテクチャで出入力の記述方式の検討
- ビジネスモデル, ビジネスアーキテクチャ, 情報システム実働の一連の流れを実現して行くこと

ご静聴有り難うございました。